

# カラーキャンドル

創作活動をととして、豊かな創造性や感性を育みます。

色を選んだり2色に重ねたりして、創造性を養うことができます。

自然の家の思い出づくりとして、宿泊した記念として作ってみませんか。



<b>時期</b>	通年	<b>所要時間</b>	1～2時間	<b>人数</b>	50名以内
<b>対象</b>	幼児以上	<b>活動場所</b>	第一研修室・プレイホール・アセンブリホール・中央ホール		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出す物</b>			<b>団体・個人で準備する物</b>	
	ろうそく、型、わりばし、クレヨン 紙コップ、鍋、お玉、コンロ			□特になし	
<b>活動の手順</b>	<b>事前指導</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 内容の確認 ろうそくを溶かして、色を付けて、オリジナルのカラーキャンドルをつくります。</li> <li>2 用具等の準備 ・ろうそくを溶かしたろうが熱くなるので、十分注意させる。</li> </ol>			
	<b>活動の実際</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 活動の説明を聞く。 (1)ねらいの確認 (2)活動方法 ①鍋にろうそくを入れ火にかける。 ②溶けたろうに色を付ける。 紙コップの中にクレヨン、ろうを入れてわりばしで混ぜます(温かいうちに溶かします)。 ③色を付けたろうを型に入れよう 固まらないうちに入れる。2色キャンドルをつくる場合は、最初のろうが少し固まってから入れよう。 ④型の中に芯を入れる。 型の真ん中に芯をセットする(わりばしで支えるようにすると良い)。 ⑤固まったら、型から取り出します。 固まるまでに20分程度かかります。</li> <li>2 活動開始 溶かしたろうはとても熱くなっているので十分注意させる。</li> </ol>			
	<b>事後</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 作品は十分に冷えてから持ち帰る。</li> <li>2 火傷の確認をする。</li> <li>3 用具返却の確認をする。</li> </ol>			
<b>備考</b>	カラーキャンドルの発展として、香りを入れた「アロマキャンドル」や2色の「ストライプキャンドル」、型の形を変えてつくる等の工夫ができます。				

